

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

(2 階 ユ ニ ッ ト)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	居心地のよい生活の場を提供し 得意分野を引き出し明るい生活がおくる事ができるよう支援している(特に趣味活動に力をいれている)	○	自分達のホームだけではなく地域の住民 特に高齢者の方々と共に活動を行なっていきたい 親睦を深め気軽に立ち寄っていただけるようなホームにしていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「個々の得意分野」は何なのか 観察や考察をしながらレクもグループ分けをし全員が楽しめるものになっている		さらなる質の向上をめざしている
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進委員会の場や文化祭を見ていただく等で理解してもらえるよう取り組んでいる		利用者の生活歴や好みに応じ個人の能力を最大限に発揮できるように支援していく
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内会の一員になっている。散歩や外出時にはご近所の方と気軽に挨拶や会話をするようにしている。スタッフは日常的に挨拶をするよう心がけている。		ホームの公開や行事への参加など気軽なお付き合いをしていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の老人施設や公民館の行事には見学にいたりしている	○	地域の行事や老人会に参加していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣者が気軽に立ち寄っていただけるよう行事などをするよう努めている	○	ホーム近隣の高齢者の実態を把握し 交流していきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価をスタッフ全員が把握して日々のケアにいかすよう声がけをしている	○	一つ一つの項目ごとに実施できているか全員で検討していく
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2～3ヶ月に1度の割合で運営推進会議を開催し、ホームの状況報告を行なっている。推進委員の方のご意見は取り入れるよう努力している	○	通信を地域の回覧板に入れてみる
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	積極的にアピールしている		市町村の情報提供などには迅速に対応していく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修などに参加して知識の会得には努力している		特定のスタッフだけではなく権利擁護の勉強をしていきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	バイタルチェック時や入浴時など利用者の身体チェックを怠らない 不穏状況などにも注意している	○	スタッフのストレスの軽減の配慮をする スタッフのコミュニケーションの活性化を考慮する

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には十分な話し合いを行なっている。また疑問点などはいつでも質問を受け入れられるようにしている		社会的責任を認識し、健全な運営とサービスの継続性を確保するための努力をおしまない
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の利用料をお支払いに来ていただいたときに家族の意向や意見を伺っている また苦情はいつでもお受けする	○	苦情や不満はスタッフ全員に伝え改善策を話し合っている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1ヶ月に1度通信やバイタルチェック表を家族に送付している 面会の際にはかならずお話している		一部の家族だけではなく利用者全員の家族が来所していただけるようになっていきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの玄関に意見箱を設けている 直接いただいた苦情は記録し今後の改善に努めている		家族が気軽に意見や希望を相談できるような雰囲気づくりを行なう
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	気のついたことなどはすぐに管理者に伝わるよう体制作りをしている。また常に事務所は開放している	○	質の向上にむけ定期的に話し合いを設けていきたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その時の状況にあわせスタッフの配置を変えたりして対応している		朝7時からの早番勤務を施行予定
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの配置転換は極力さけるようにしている 実施の際はせいぜい一人の移動としている	○	1階と2回の2ユニットだがどちらにも対応できるスタッフになってほしいので業務分担の割り当てを工夫している

(事業者名 グループホーム愛の手)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に研修に参加するよう呼びかけている 自ら参加申し出があった場合など勤務体制を調節するなど憂慮している	○	知識や技術の習得のため研修の参加にはできるだけ勤務体制など配慮している
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回のグループホーム協会への参加をしながら他のグループホームとの交流を深めていく		近隣のサービス事業者と交流を持ち連携をとっていきたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフの不満・提案を傾聴し対応するよう努力している コミュニケーションを多くもつようにしている		面談をもつなど個人的に話を聞く機会をもっている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者も業務に携わりスタッフの勤務状況を観察している 各種研修の案内を提示している		フォローアップ等研修を受講するよう啓発している
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者とかかわる時間を多く持ち 観察・コミュニケーションをはかる		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時などお話の機会を持っている 来所できないご家族には電話でお話をするようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人や家族と面談をしました担当ケアマネとも検討をし当ホームで対応できないときには他サービス事業者を紹介したりしている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に遊びに来ていただいたり 訪問していただいたりしてから入所していただくようにしている 入所当初はなるべくご本人に寄り添う機会を多くしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意分野を見出し 調理やレクリエーションなどご本人の能力をいかすような場面づくりをしている	○	利用者の存在がスタッフの就業の支えになっている 一緒に生活していく事がお互いの支えになっている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加のお誘いや通院介助をお願いしたりしている	○	利用者・ご家族・スタッフと一緒にできることを見つけていきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族との外出や外泊 電話でお話しをするなど家族との絆を絶やさないように努めている		家族の思いを理解し高齢の家族の方の生活支援のお手伝いをしていく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族はもちろんのこと友人・知人の面会も歓迎している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	みな仲良くやっている。時には意見のくい違いなどみられるがその時はスタッフがさりげなく場面を変えている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	在宅に戻られた方には在宅のケアマネージャーに引き継ぎをおこなっている 入院された方にはいつでも相談にのることを伝えている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ本人の意向に添うように努力している(特に趣味の分野では)手芸をする 歌をうたう 調理をする・・・		家族にも参加していただく機会を作る
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常の会話からその人の昔を知ろうとしている 大切な部分は記録するようにしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活から状況を観察しチャートに記載している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族はもちろん毎日接しているスタッフからの情報を大切にプランをたてるようにしている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況に即したプランをたてるよう努力している		家族からの情報収集を多くする 医師や関係機関からの助言をうける

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	チャートを個別に記入し 業務日誌により夜勤 日勤の情報を共有している		全員が情報を共有できる工夫をする 記録の勉強をする
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	そのときに応じたさまざまなものを準備している(楽器・ハンドベル 裁縫に関するもの・編み物等々)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ホームの行事のときなどボランティアの訪問などで会を盛り上げていただいている		地域の方々が日常的に訪問していただけるようにしていきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	レンタルできるものなど対応している 必要があればいつでも対応できる		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要があればいつでも連携できる体制にある		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からの主治医を継続している。主治医からは情報提供書をいただいております 必要時通院には同行させていただいている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の進行がすすんでいるかたには専門医の受診をし適切なアドバイスをいただいている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	2週間に1度の訪問看護を受けており健康管理をお願いしている		訪問看護とのさらなる連携の強化を図る
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院を訪問しご本人と面会し家族とも話し合う機会をもつようにしている 適宜主治医とも面談しアドバイスをいただいている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所の段階から家族と話し合いをもちホームでできる範囲での対応を話し合っておく		ホームの体制のあり方を確立していけるよう努力する
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者、家族の希望があれば主治医や訪問看護の協力を得ながらホーム一丸となり取り組んでいく		各職種ごとに終末期の勉強をする 日頃から利用者、家族、主治医、ホームの円滑な関係が築いていけるよう努力する
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報交換を充分に行いサマリーを提出している		他施設から面談に来ていただけるようにしたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	その人に合った言葉がけをしている やむを得ず個人情報を開示しなければならない時のために 家族からは同意書をいただいている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	各利用者に応じた言葉がけをしなるべくご自分の意志が伝わるように配慮している	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースや意志を優先している	ゆっくり一緒に楽しくを目標にしている
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	好みをとりいれた服装をしている 床屋さんには出張してもらっている 美容院へは送迎している	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食下ごしらえや配膳のお手伝いをさせていただいている	手作りおやつを増やし利用者さんと楽しんでいきたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食欲の落ちた利用者には好みを取り入れるなど別メニューで対応している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	特に排便に関しては各々のパターンを理解し便秘や失禁のないよう対応している 汚染したときは速やかに対応している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の意志尊重はしている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活にメリハリをつけ生活のリズムをつけ夜にグッスリ眠れる様に努めている 日中でもいつでも休めるようには配慮している		清潔で適格な寝具を使用できるよう援助していく
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	残存能力をフルに活用していただき披露している 計算 調理 縫い物など		個人の価値観の違いを理解する
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理ができない人がほとんどなので所持金のある方の分は事務所で預かりしている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩はもちろんのこと近隣の行事やイベントの見学にでかけている		公共の交通機関を使って外出してみたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との外出や外泊はおおいに推奨すべきものである ホームでは全員で雫石の道の駅までおでかけした		デパートなどへのお買い物など企画してみたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいときはいつでも電話をお貸ししている 電話がきたときもいつでも取り次いでいる		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は特に設けていないのでいつでも歓迎いたします		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はいっさい行なっていません 言葉による拘束にも気をつけています		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在は脱走兵がいるので日中も玄関に鍵をかけています		一日も早く鍵のかけないホームにしたいとねがっています
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常にスタッフは目配り・気配りに配慮しております 夜間は居室のドアを半開きにし、2時間ごとの巡視を怠りません		さらなる事故防止、安心、安全に努める
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	お針箱をお持ちになった方はお預かりし必要時お渡ししている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1日に何度も階段の上り下りを繰り返す利用者さんには常に付き添い朝の忙しい時間帯には早番をもうけた		どこに配慮を向けるべきかという情報を職員全員が共有できるようにする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	心肺蘇生のマニュアルを作成している 緊急時の連絡先を掲示している		スタッフ全員がAEDの講習会に参加できるようにしたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進委員会で協力をお願いしている		地域の防災訓練への参加
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時はもちろん面会時にも対応の報告をしている		介護事故を生み出す「あいまいさ」を常に教育していきたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行なっている 異常のあるときは早めの医療機関の受診を行なっている		訪問看護との連携を強化していく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を各利用者のチャートにファイルしている 薬箱を用意し各回毎に配薬しその都度手渡ししている 服薬後はチェックシートに記入している 薬はスタッフが管理している		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	乳製品・食物繊維の多い食品を摂る 水分補給を多めに摂る 適度の運動をするようこころがけている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後スタッフがついて口腔清拭をおこなっている		口腔ケアの介護予防の研修に参加する

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分補給のチェックをおこなっている 状況に応じ食べやすい大きさや形にする 標準体重にちかずけるよう食事量などチェックしている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種の施行 インフルエンザやノロウイルスについての情報を回覧したり ファイルしたりしている 事あるごとに予防策を職員に徹底している		研修会への参加 新しい情報の提供に努める
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1日分の食材を購入している 調理器具は毎日殺菌している 専用の割烹着を着用し三角巾をかぶって調理している		研修会への参加 新しい情報の提供に努める
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	大きな看板を掲示している 玄関はゆるいスロープになっていて手すりがついている		違和感、威圧感を感じさせないような工夫をしていく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの装飾をしている 2階の窓にブラインドがつき1階の方々がまぶしくなくなった 常に清潔に気をつけている		共有空間の環境の工夫に努めていく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーに座りリラックスできる空間を提供している 和室も完備している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室には自分の好きなものを持ち込みお好きなように配置している		その人に合った生活環境づくりができるようお手伝いしていく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	3～4時間毎の喚起をしている 各居室には換気口があり常に作動している 居室は常に快適温度を保つように暖房が設置され温度調節ができるようになっている ホールには常に加湿器を作動させている		アロマセラピーをとりいれていく
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所要所に手すりが設置されている 段差をなくしている ゆい階段になっている		利用者一人一人に応じた危険防止をしていく
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	洗濯たたみ シーツ交換など利用者と一緒にスタッフと一緒におこなっている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターに花を植えて玄関脇に飾ったり ベランダでバーベキューをした		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
		○	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

おひとりおひとりに見合った細かい援助をしている (ADLの低下にともなうもの・意思疎通の困難なもの等々)